

先輩との交流会の持ち方

企画委員会

- 1 交流会のねらい
 - ◎これからの生活の場（高校、職場など）ではどのような生活が待っているか。
 - ◎それぞれの人生の先輩たちは、どのような気持ちで日々を送っているか。
 - ◎日々の努力と目標をもち、達成すること、しようとする大切さ。
 これらについて知ること、自分の将来をどのように考え、今の進路選択をどのようにとらえていくことが望ましいかを見つめる場とする。
- 2 日時
8月21日（金） 午後、5・6校時
- 3 場所 屋内体育館（全校集会）
- 4 先輩の参加者
 - (1) 高校生（3年生）
白高、白女、矢吹、白実、その他 各高校3～6人
 - (2) 社会人（近くで働いている人）
適当な人がいないときはPTAの役員の方
- 5 内容
生徒が聞いてみたいことをアンケートで取ってみる。
（予想）
 - 高校生について
 - ・部活動、友人づきあい、勉強の仕方、受験の様子、赤点や落第、在学中に取れる資格など
 - 社会人について
 - ・仕事の様子、なぜその仕事を選んだか、仕事での苦しみや楽しみ、給料、生徒に望むことなど
- 6 仕事の分担
・司会 ・放送設備 ・会場づくり（花、かざりつけなど） ・資料（プリントなど）
- 7 プログラム

(1) 開会のことば	(6) 質問
(2) 学校長のお話	(7) 生徒の感想
(3) 生徒代表のあいさつ	(8) 先生のお話
(4) 先輩の紹介	(9) 閉会のことば
(5) 先輩のお話	
- 8 学習資料
 - (1) 先輩の紹介
 - (2) 先輩に聞こうと思うこと（アンケートのまとめ）
 - (3) 感想文（交流会が終わって自分で思うこと、やろうと思うことなど）
- 9 留意点
 - (1) 事前に語ってもらう人と打合せをもち、交流会の趣旨を説明して効果が上がるようにする。
 - (2) 交流会が終わったら、全生徒に感想文を書かせ、発表公開のときに代表者に発表させる。
 - (3) 今から準備をし、内容を豊かなものにする。

- ② PTA会報による進路情報の提供
- ① (8) ② 保護者への啓発
保護者との連携をねらいとして先輩の意見、授業の紹介、生徒の考えなどを内容に盛り込んだ広報紙「進路だより」の発行（資料2）
- ① (7) 生徒の啓発的体験
生まれ育った大信村にはどんな企業があるのかを知る。また、企業で働く人々の姿や仕事の内容を知り、広く職業を理解させるために、企業見学を実施してきている。これは、二・三年生から希望者を募り、夏休み中に村内の三つの企業を見学する。なお、事前学習を重視し、有意義な企業見学になるように努める。
- ① (6) 学習訓練
「学習の心構え」を作成し、全教師が共通理解のもとで指導に当たる。
- ② 学習訓練はまず、行動面を中心とした内容を重点に置いて指導に当たる。
- ③ 学習方法訓練の徹底を図るために、項目ごとに強化週間を設け、全教師と全生徒が一体となって取り組んでいる。
- ③ 検証授業においては、授業診断項目（学習指導面、生徒の学習活動）を設け、授業者以外の教師が分担して評価し、それをもとに事後研究で討議する。また、学習指導面と生徒の学習活動の診断項目は関連があるようにした。